

<司令官ケネス・メイナー大佐の2020年4月12日のビデオメッセージ（要約）>

世界中で新型コロナウイルスの感染者、死者が増えており、特に若い年齢の人が重症化していることがニュースで伝えられています。それらを目にして、この世の暗さが増している、と感じている方も多いでしょう。しかし、イエス様は「私は世の光である」と言われました。この日曜日、私たちはイエス様の復活を祝います。私たちは希望を持つことができます。なぜなら、イエスの墓は空であり、復活されたからです。ヨハネによる福音書を見ると、マグダラのマリアは朝早く、まだ暗いうちに、主の墓に行こうと決心し、立ち上がりました。私たちはこの受難週に、イエス様が逮捕され、裁判にかけられ、いためつけられ、十字架にかけられ、墓に納められ、弟子たちが苦しみ葛藤した姿を思い起こしました。そのような暗さの中で、マグダラのマリアは勇気をもって立ち上ったのです。私たちも信仰によって勇気づけられ、マグダラのマリアのように立ち上がり、主こそ私の備え、アドナイ・エレです、と宣言しましょう。墓の石が取り除けられていたのを目撃したマグダラのマリアは、自分の信仰の家族である弟子たちのもとに走り、主の復活を伝えました。ぜひみなさんも、今この暗い時にあって、家族や信仰の友に電話をかけ、語り合い、祈りを共にしていただきたいと思っています。このイースターにあって、マグダラのマリアが暗いうちに立ち上がったことに、心を止めていただきたいと思っています。